

令和4年度第1回ピースツーリズム推進懇談会

HIROSHIMA
PEACE TOURISM

令和4年（2022年）9月8日

目次

1 令和4年度上期の取組	3
2 令和4年度下期の取組（予定）	7
3 意見交換	15

(1) 情報発信の強化

- ⇒ WEBサイト等による、モデルルート、スポット情報発信 (P4)
- ⇒ ルートマップの配布
- ⇒ 情報提供の実施：国内ジャーナリスト研修「ヒロシマ講座」 (P5)
- ⇒ SNS参加型キャンペーンの実施：フォトコンテストの計画

(2) 市民・民間との協働体制の構築

- ⇒ 「ピースおこ」プロジェクトとの連携 (P6)
平和へのメッセージを発信する取組
- ⇒ 中国新聞社「Green Greeting Tourism」との連携
被爆樹木のガイド育成プログラムと平和教育コンテンツ

(3) 来訪者と市民が平和の思いを共有するための取組

- ⇒ 体験型周遊イベント等の計画
周遊イベント等を通して平和の思いを共有
各種団体等のネットワーク構築

(1) 情報発信の強化

① WEBサイトのアクセス数とInstagramのフォロワー数

令和4年4月~令和4年7月末

■ WEBサイトの月間アクセス数

○アクセス数:平均6,443件 令和3年同時期平均の3,124件から**約2倍増**

R4年4月	R4年5月	R4年6月	R4年7月	R4年4月~7月平均
4,715件	6,833件	7,420件	6,803件	6,443件

■ Instagramのフォロワー数

○フォロワー数:2,685人(令和4年7月末現在)

令和3年7月末の940人から**約3倍増**



令和4年8月実施

(1) 情報発信の強化

② 国内ジャーナリスト研修「ヒロシマ講座」でピースツーリズムを紹介

国内の若手ジャーナリストを対象に核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた世論の醸成を図るために毎年実施している「ヒロシマ講座」において、観光政策部が本市のピースツーリズムについて講義を行うとともに、「ぴーすくる」を活用して、参加者が実際に施設を巡る体験を実施した。

参加者の感想は「思いがけないところに被爆建物や被爆樹木があることがわかった」と市内をめぐることで新たな発見があったという声が多く寄せられた一方、「ガイドがいないとスポットを見落としてしまう」との意見があった。

開催日 令和4年8月1日

会場 広島国際会議場（講義）

見学場所 本川小学校平和資料館、相生橋、被爆樹木、中国軍管区司令部跡、大本営跡等

参加者 10名



(本川小学校平和資料館)



(広島城の被爆樹木：マルバヤナギ)

ピースツーリズムに関する記事を掲載

⇒ 8月2日 下野新聞「SOON」ニュース

(<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/618276>)

⇒ 8月16日 河北新報社「86を継ぐ 広島 原爆の記憶 ②観光周遊」



下野新聞「SOON」

ニュース

8月2日掲載記事

被爆建造物など自転

車で巡る 広島でピース

ツーリズム【動画】

(2) 市民・民間との協働体制の構築

「ピースおこ」プロジェクトの紹介

お好み焼きに平和へのメッセージを描き、世界に届ける取組

令和4年8月～11月

開催期間：令和4年8月1日～8月15日

主催：一般社団法人お好み焼アカデミー

- 参加方法：① 参加店舗にて、注文したお好み焼にマヨネーズ等で「ピースおこ」を描き、「#peaceoko」を付けてSNSに投稿。
② 参加店舗にて、メッセージカードに平和への思いを描く



「ピースおこ」の写真とあわせて 11月3日（木）市民平和文化イベントで展示



広島ピースツーリズム インスタグラム



令和4年8月3日投稿
724件の「いいね!」を
獲得（8月31日時点）

(1) 情報発信の強化

- ⇒ WEBサイト等による、モデルルート、スポット情報発信
- ⇒ ルートマップの配布
- ⇒ 情報提供の実施
- ⇒ SNS参加型キャンペーンの実施：フォトコンテストの計画・実施（P8）

(2) 市民・民間との協働体制の構築

- ⇒ 中国新聞社「Green Greeting Tourism」との連携（P9）
被爆樹木のガイド育成プログラムと平和教育コンテンツ

(3) 来訪者と市民が平和の思いを共有するための取組

- ⇒ 体験型周遊イベント等の計画・実施（P10～P13）
周遊イベント等を通して平和の思いを共有
各種団体等のネットワーク構築

(1) 情報発信の強化

SNS参加型キャンペーン：あなたのピースな写真コンテストの実施

令和4年10月～12月

令和2年度から、できるだけ多くの人に「ピースツーリズム」を知ってもらうきっかけとしてSNSを活用したユーザー投稿型のフォトコンテストを実施している。一昨年、昨年と2年続けて約4,000件の応募があった。これによりWEBサイトへのアクセス数が増加するなど一定の認知度向上を図ることができたため、引き続き、多くの人に「平和」を考えるきっかけを提供するため実施。

今年度は、応募期間を10月から12月までとし、11月の平和文化月間イベントと連携したフォトコンテストを開催する。

- 応募期間： 令和4年10月1日から12月31日までの予定
- 応募テーマ：「#ピーススポット2022」広島広域都市圏内の「平和」に関わるスポットの写真
(案) 「#ピースデイズ2022」普段の生活の中で心の「平和」を感じる写真
- 結果発表： 令和5年1月予定



あなたのピースな 写真コンテスト

応募期間
2022
10.1
～
12.31
2022

(左：フォトコンテストのイメージ画像)

令和4年8月～

(2) 市民・民間との協働体制の構築

「Green Greeting Tourism」との連携

被爆樹木に関するガイドを育成し、平和教育向けのコンテンツを開発する取組

実施主体：株式会社中国新聞社

「被爆樹めぐり」ガイド研修（令和4年8月～）



10月にツアーを開催予定

- ◎ 水上タクシーコース
- ◎ 路面電車コース
- ◎ ウォーキングコース
- ◎ サイクリングコース



**「被爆樹木との出会い」を一般向け、
平和教育向けのコンテンツとして開発**



(上と右の写真：「被爆樹めぐり」ガイド研修の様子。中国新聞社提供)



(3) 来訪者と市民が平和の思いを共有するための取組

① ピースツーリズム体験型周遊イベント等を開催する背景

ピースツーリズムに興味を持つ層の特徴：

令和2年度のインターネット調査を元に考察

深堀したい層（ピースツーリズムへの興味・関心に対し「関心がある」と回答した層）

- 20代などの比較的若い年齢層
 - ・ SNSを利用している。
 - ・ 自ら発信、共有したい。
 - ・ YouTubeなどの動画投稿サイトからも、観光情報を収集している。

行動的・能動的
知的好奇心が高い

- 広島市訪問回数が2回以上（リピーター）

静かに考える機会

- 子どもや孫を連れた家族旅行
（小さな子どもではなく小学生高学年以上）

大切な人と語る機会

浮遊層（ピースツーリズムへの興味・関心に対し「どちらともいえない」と回答した層）

- 平和に関するイベント等に対して関心が低い
- 灯ろう流しのように気軽に参加できるものであればやってみたい

(3) 来訪者と市民が平和の思いを共有するための取組

② 今後の活動を考える上で重要な点：

ターゲット別にニーズや情報収集をする媒体が違う

- 深堀したい層
- 浮遊層

⇒ **ターゲットにあった、内容やプロモーション方法を検討する**

(2) 深堀したい層がピースツーリズムに対して求めていること

- | | | |
|--------------------|---|--------------|
| ● 静かに戦争・歴史について考えたい | > | 戦争・歴史を学びたくない |
| ● 主体的に学ぶ・考える旅 | > | 説明や話を聞く（受動的） |
| ● 少人数 | > | 団体ツアー |
| ● 自分の興味に沿って散策 | > | ツアーのように巡る |

⇒ **深堀出来るコンテンツや主体的に参加できる仕掛けが必要**

(3) 「平和（慰霊、鎮魂、学び）」× 「観光（楽しいこと）」に対する違和感

- 一見相容れない、多様なコンテンツがあることに戸惑っている
- ピースツーリズムで楽しいんでよいのか？との思いを抱える人もいる

⇒ **ダークツーリズムではなく、ピースツーリズムとなるため
平和と観光を結び付ける仕掛けが必要**

(3) 来訪者と市民が平和の思いを共有するための取組

③ ピースツーリズム体験型周遊イベント等：ピースパズル

令和4年11月開催予定

広島市内の主要な平和関連施設等を巡るピースツーリズムをより活性化するため、潜在的ターゲット層である20代などの若い年齢層を対象に、市内の平和関連施設等を巡り平和を考える体験型周遊イベント等を開催し、ピースツーリズムの情報発信の強化を図るとともに、参加者自らが平和とは何かを考え、平和への思いを共有できる環境づくりを行う。

体験型周遊イベント等は、平和をテーマとして活動している各種団体等と積極的に連携し、来訪者に満足度の高い周遊コンテンツを提供するとともに、同取組を契機に、各種団体等のネットワーク構築が促進され、来訪者と市民が平和への思いを共有するピースツーリズムの機運が高まることを目指す。

ピースパズル：平和学習デジタルスタンプラリーを活用した体験型周遊イベント

- 開催期間：令和4年11月（平和文化月間）
- 開催場所：広島平和記念公園、広島市内の平和関連施設等
- ターゲット層：10代～20代、平和学習に関心がある若い世代



(左：フォトコンテスト
のイメージ画像)

(3) 来訪者と市民が平和の思いを共有するための取組

④ ピースツーリズム体験型周遊イベント等：一斉イベント

令和4年11月開催予定

平和文化月間における一斉イベントの実施

平和をテーマとして活動しているに各種団体が、様々な場所でイベントを開催

平和文化月間（11月）に、平和をテーマとして活動している各種団体等が様々な場所でイベントを実施し、それらを「ピースツーリズムイベント」としてまとめて情報発信を行う。同時多発的なイベント実施により周遊拡大を図るとともに、ネットワークの構築を図る。

- 開催期間：令和4年11月の土・日（予定）
- 開催場所：広島市内各所

一斉イベント開催予定

団体名	日時・内容
(一社)HelloHiroshima	17(木)、18(金) ヒロシマ「」継ぐ展 展示ブース
ひろしまたてものがたり フェスタ実行委員会	5日(土) 被服支廠見学会
Sokoiko (株)mint)	12(土)、13(日)、20(日) PEACE TOUR
NPO法人PCV	19(土) パークツアー&ワークショップ
つむぎ屋	20(日)
20日(日) 音楽とリーディングドラマ「父と暮らせば」の上映 ※他にも調整中の団体多数	



(上：一斉イベントのイメージ画像)

質疑応答

今後の取組

ピースツーリズム = 平和をテーマとした広島周遊促進

1 情報発信の強化

- ⇒ SNSを利用した参加型キャンペーン
- ⇒ インターネット広告

フォトコンテストの開催

2 市民・民間との協働体制の構築

3 来訪者と市民が平和の思いを共有するための取組

- ⇒ 20代などの若い年齢層向けの周遊コンテンツの企画、実施、評価

体験型周遊イベント等の開催

G7広島サミットの開催を契機に情報発信を強化する取組

平和関連施設等を巡る モニターツアーを実施

- 1 プロモーションを行うに当たって、注意すべき点
(ストーリー、キーワードなど)**
- 2 G7広島サミットを契機とする取組について
(先行事例や手段など)**
- 3 その他**